

ファイナルレポート

国際レーザー・オプトエレクトロニクス応用技術専門見本市
2026年3月18日～20日 / 中国・上海新国際見本市会場

2026年3月20日

Laser World of Photonics China 2026

世界をつなぎ、新たな航路を共に進む国際的な交流の場として
確かな成果を残す

Summary

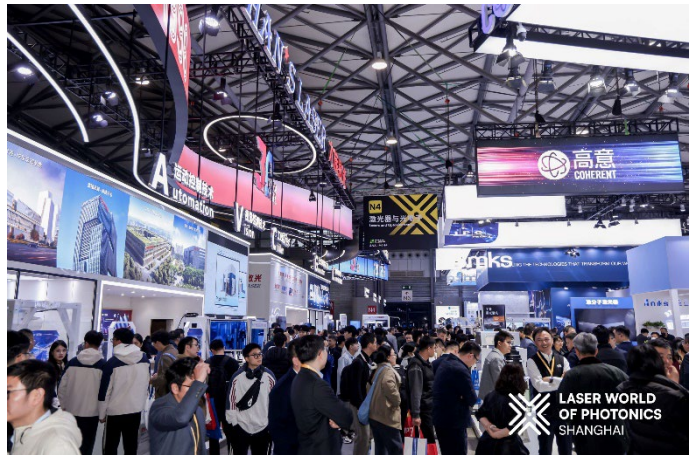
- 展示面積は前年比 8% 拡大
- 22 カ国・地域から約 1,500 社
が出展
- 来場者は、58,281 人
- 併催された 2 つの会議プログラ
ムでは、合計 200 件の発表



Facts & Data

会 期	2026年3月18日(水)～20日(金) 9時～17時(最終日16時まで)
会 場	中国・上海新国際見本市会場
主 催	Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海
規 模	(2025年:100,000 m ²)
出 展 企 業	22カ国・地域から約1,500社(2025年:1,404社)
来 場 者 総 数	58,281人(2025年:71カ国から52,835人)
専 門 分 野	レーザー・オプトロニクス、光学、光学製造技術、センサー・測定技術、生産技術、 光学測定システム、医療技術・バイオテクノロジー、イメージング、マシンビジョンイ ルミネーション
主 な 出 展 品	光学コンポーネント: レーザー・オプトロニクス、オプティクス、センサー、検査・計 測、サービス オプティカル製造技術・光学アプリケーション: レーザー加工・製造技術、オプティカ ル計測システム、医療用レーザー、バイオフォトンクス・ライフサイエンス、イメージ ング、イルミネーション
専 用 U R L	www.world-of-photonics-china.com.cn (英語 / 中国語)

2026年3月18日から20日にかけて、第21回 Laser World of Photonics China が上海新国際見本市会場において開催された。今年の見本市は、開催規模と来場者数の両面で飛躍を遂げ、展示総面積は前年比8%増となった。世界の22カ国・地域から約1,500社が出展し、各社の製品やソリューションを紹介した。来場者数は58,281人で、前年比10%超の増加となった。併催された2つの関連イベントでは、合計200件のセッションおよびプレゼンテーションが行われ、本見本市の業界における影響力を一層際立たせるものとなった。



会期中、本見本市は供給側と需要側の双方を効果的に結び付け、世界のリーディング企業、イノベーションを牽引する企業、そして専門性・先進性・独自性・革新性を備えた企業が一堂に会した。新製品や主力製品が集中的に発表され、産業チェーン全体の中核領域を網羅する多様な注目製品が紹介された。さらに、多様な併催イベントや技術フォーラムが開催され、本見本市は高評価を得て、注目を集めるイベントとなった。

メッセ・ミュンヘン CEO のラインハルト・ファイファーは、「Laser World of Photonics China は毎年、世界の業界大手企業や革新的企業を一堂に集め、オプトエレクトロニクス技術の急速な進化と豊かなイノベーション成果を鮮明に示している。この見本市は、フォトニクス産業におけるグローバルな技術動向を示す重要な指標となっている」と述べている。

メッセ・ミュンヘンのヤン・ローデ(メッセ・ミュンヘン上海有限公司 CFO)は、「フォトニクス関連企業にとって、Laser World of Photonics China は単なる展示の場ではなく、年次戦略における重要な拠点となっている。本見本市は、それぞれの専門分野を着実に深化させており、企業と見本市との双方向エンパワーメントが、フォトニクス産業の発展を促進させている」と述べている。

今年度の Laser World of Photonics China は、世界のフォトニクス産業を代表する企業群が一堂に会し、高水準かつ大規模な見本市となった。国際的大手企業と中国のリーディング企業が、互いに補完し合い、競い合っ、業界の主要7分野にわたって、各社のコア製品、テクノロジー、ソリューションを紹介した。その7分野とは、「製造加工向けのレーザーおよびレーザーシステム」、「レーザーおよびオプトエレクトロニクス」、「集積フォトニクスおよび光通信」、「オプティクス」、「オプティクス製造技術」、「オプティクス計測および品質保証」、「赤外線技術およびその応用」である。

なお、ドイツ、米国、カナダ、日本、フランス、スイス、英国、大韓民国など、世界各国から多くの企業が出展している。中国企業にあっても、強力な産業連携能力を発揮し、独自開発のコア技術を基盤とした中国のスマート製造の実力を世界に示した。



そして、Laser World of Photonics China 2026 には、中国の主要研究機関も多数出展し、各展示エリアでは、最先端技術や注目製品が紹介された。精密オプティクス、航空宇宙技術、レーザー技術、赤外線検出、特殊材料、フォトニックチップ、光通信、半導体、インテリジェント・センシングなど、フォトニクスの中核分野を網羅する内容であった。これらの研究機関は、卓越した研究開発力を基盤にフォトニクスの中核的なイノベーション・マトリクスを構築し、産学研連携の深化と科学技術成果の効率的な実用化を促す交流プラットフォームとして本

見本市を活用した。

さらに、「量子コンピューティングミュージアム」や「バイオメディカル・フォトニクスゾーン」も大きな注目を集めた。併催プログラムの「Light Conference on Laser & Sensor」と「PHOTONICS CONGRESS SHANGHAI」には、世界的に著名な科学者が多数参加した。会場での活発な交流や熱気ある議論は、フォトニクス産業の力強い発展動向を如実に示した。



次回の LASER World of PHOTONICS Shanghai は、2027 年 3 月 8 日から 10 日まで Shanghai New International Expo Centre で開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用 HP www.world-of-photonics-china.com.cn まで

LASER World of PHOTONICS CHINA 2026 主な出展日本企業（現法出展など含む）

暁明技術(株)、旭興産(株)、(株)アタゴ、(株)アマダ、ウシオ電機(株)、SMC(株)、(株)オハラ、神津精機(株)、(株)キーエンス、キヤノンアネルバ(株)、コニカミノルタ(株)、santec Holdings(株)、駿河精機(株)、中央精機(株)、(株)テクニスコ、(株)ナベヤ、白銅(株)、浜松ホトニクス(株)、(株)日立ハイテク、(株)ミットヨ、横河計測(株)
ほか（50 音順）

資料請求、各種お問い合わせ先：メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp（日本語） www.messe-muenchen.de（英語 / ドイツ語）